平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会参画実習2(Practice in Social Participation 2)【工学部】			**授業コード**	A031152
担当教員名	藪内 聰和			**科目ナンバリングコード**	A20204
配当学年	2	**開講期**	後期		
必修・選択区分	全学部　必修	**単位数**	1		
履修上の注意または履修条件	・人間力の育成、就職に重要な科目ですので、積極的に受講して下さい。 ・本科目には「キャリア開発プログラム」クラスと「企業課題挑戦型プログラム」クラスがあります。履修登録クラスを間違わないように注意して下さい。 ・業界研究発表会には必ず出席して下さい。正当な理由がなく欠席した場合は、単位認定されないことがあります。				
受講心得	・3年次には就職活動に向けた準備が始まります。是非、今期のうちに、自分が進むべき方向性が見いだせるように、積極的に授業を受けて下さい。 ・授業では、レポートや文書作成などの課題が課されます。提出期限を必ず守るようにして下さい。 ・通常の教室と異なる教室で実施する回がある場合があります。その際は担当教員、掲示等で教室などをお知らせしますので、間違わないように注意して下さい。また、外部講師が講演されるケースもありますので、今のうちから社会人としてのマナーを守って受講しましょう。 ・企業訪問取材を2回実施します。基本的なマナー、服装を守って下さい。				
教科書	就職基礎Drill(実務教育出版)　※前期使用教科書				
参考文献及び指定図書	『知へのステップ　第3版－大学生からのスタディ・スキルズ－』 (くろしお出版)学習技術研究会　編著				
関連科目	社会参画入門・実習1・応用、人間力概論、就職講座、就職活動実践講座など				

授業の目的	「キャリア開発プログラム」 本実習では、将来設計能力の育成、職業観の育成をしつつ、人間力、社会人基礎力を向上することを目的に、前期に引き続きキャリア開発プログラムを実施します。本実習を通じて、社会経済情勢の急激な変化に対応できる能力、自由に自分らしい生き方を選択し、目標を設定しそれを達成する力を身につけるとともに、自分の進む業界のことを正しく理解するための力、自分の役割を認識し実践する力を身につけます。また、大企業と中小企業、全国展開企業と地域企業の違いについても理解します。
授業の概要	本実習では、前期に引き続いたキャリア開発プログラムとして、将来に向けた自分の目標設定を行うとともに、業界研究、就職基礎力などを取り上げます。ここでは、就職基礎力を磨くとともに、前期よりも深く、また自分に関係のないと思っている業界や地場企業を含めた業界研究を行い、社会や地方創生の動向と自分の生き方をより広い視野に立って関連づけていきます。これらの成果を発表することで、社会人としてのコミュニケーション能力やプレゼンテーションによる発信力など社会人基礎力を磨きます。さらに、自分の能力を客観的に見つめ、能力を向上させるための行動目標の設定と達成に向けた取り組みを行います。 【キーワード】 〇コミュニケーション力　〇行動目標　〇職業観　〇企業　〇業界研究　〇SWOT分析 〇時間管理　〇プレゼンテーション　〇社会人基礎力　〇地方創生

〇授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 ： ガイダンス・就職基礎ドリルテスト ■行動目標の設定の重要性　■働く意義や心構えを考える　■就職基礎ドリルテスト	
第 2 週 ： 行動計画の再作成 ■前期のPROG(基礎力測定テスト)に基づく振り返り、行動計画の再確認 ■就職基礎ドリルもしくはテスト【前期の続き】	行動計画の再作成
第 3 週 ： 業界研究話題提供 ■業界研究の進め方　■業界研究テーマを選択　■話題提供 ■就職基礎ドリル	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。
第 4 週 ： 業界研究① ■チーム編成後、調査の役割分担＆情報収集・調査(1)　■就職基礎ドリル	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。

第 5 週 ： 業界研究② ■企業訪問準備学修（1）　■就職基礎ドリル	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。
第 6 週 ： 業界研究③ ■企業訪問実習（1）	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。
第 7 週 ： 業界研究④ ■企業訪問振り返り（1）　■企業訪問準備学修（2）　■就職基礎ドリル	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。
第 8 週 ： 業界研究⑤ ■企業訪問実習（2）	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。
第 9 週 ： 業界研究⑥ ■企業訪問振り返り（2）　■情報収集（2）　■情報分析（SWOT分析・整理） ■情報共有　■就職基礎ドリル	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。
第10週 ： 業界研究⑦ ■チーム内での情報共有＆整理　■業界の特徴のまとめ　■就職基礎ドリル	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。
第11週 ： 業界研究⑧ ■内容取りまとめ　■発表準備①　■就職基礎ドリル	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。
第12週 ： 業界研究⑨ ■内容取りまとめ　■発表準備②　■就職基礎ドリル	各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。
第13週 ： 業界研究発表会【学科授業】 ■業界研究結果についてプレゼンテーション	
第14週 ： 行動計画の振り返りと就職活動計画の策定 ■半期を振り返り達成度をチェックするとともに、夢を実現するための活動計画を策定する　■就職基礎ドリル	
第15週 ： EQアセスメント【学科】 ■人間力についてアセスメント評価を行う	
第16週 ： 期末試験【学科】	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考	企業取材の際には実践型教育実施枠（4～5限）も使用します。企業訪問日は、先方との調整により決定しますので、授業回が前後する場合があります。担当教員の指示に従って下さい。 担当教員によって、講義の進度・順序・内容が異なることがあります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①職業観：企業に関心を持ち、授業内容に進んで取り組むことができる。 ②時間管理：無遅刻、無欠席で授業に参加できる（規律性）。
【知識・理解】	①企業についての理解：企業とは何かを理解できる。 ②就職基礎力：就職試験問題をある程度解くことができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	①コミュニケーション力：活動を通じて、クラスのメンバーに自分の意見を理解してもらうことができる（発信力）。また、相手の話や意見を聴くことができる（傾聴力）。 ②プレゼンテーション力：自分の活動成果を適切にプレゼンできる。
【思考・判断・創造】	①考え抜く力：業界研究において担当企業の現状を明らかにできる。 ②計画力：行動目標を設定し、発表に向けた計画をすることができる。また、現時点での自分の進路を設定し、今後の活動計画を立案できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			20点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	30点	15点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			15点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	・就職基礎ドリルの取組状況を評価します 。(10点) ・企業取材レポート・業界研究のプレゼンテーション資料(担当分)の作成状況を評価します。（15点） ・行動計画の作成、ふり返り状況を評価します。(10点)
発表・その他（無形成果）	・業界研究発表会のプレゼンテーションを総合的に評価します。（チーム評価＆個人評価で15点） ・授業に欠席したり遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。（20点）